令和5年度　環境部主要事業の概要について

【資料1】

使命	計画	目標	現状と課題	令和5年度の主な取組内容	期待される効果
環境負荷の低減と自然との共生の確保	旭川市環境基本計画 新旭川市ごみ処理・生活排水処理基本計画 旭川市食品ロス削減推進計画	循環型社会の形成	●ごみ総排出量 ・令和4年度実績は約11万1千トンで，計画最終目標値（令和9年度）まで約1万1千トンの削減が必要 ・ごみ総排出量は微減，市民1人1日当たり排出量ともに横ばいで推移 ・特に2R（Reduce(発生抑制)，Reuse(再使用)）の更なる意識の醸成と定着に向けた取組の強化が必要	**●ごみの減量・資源化の推進　●安全・適正なごみ処理の推進とエネルギーの活用　●効率的・効果的なごみ処理の推進** **●環境との共生の推進　●浄化槽設置による生活排水処理の推進** **●新・旭川市ごみ処理・生活排水処理基本計画【改訂版】（第2版）の見直し** ○安定したごみ収集運搬体制の維持 ■ごみ収集運搬費〔1,429,516千円〕 【ごみステーションに排出される家庭ごみの委託による収集運搬業務の実施（令和4年度と同様の体制で実施）】 ○2R（発生抑制，再使用）の強化 ■ごみ減量アクション推進費〔1,521千円〕 ・食品ロス削減の取組 食品ロス削減推進計画の施策に基づく取組の推進 【家庭】市内飲食業従事者等による食品ロス削減レシピや取組を動画にして配信 食品ロス削減（冷蔵庫の整理方法）セミナーの実施 【事業系】飲食店での食べきり実践のため，「3010運動」等について，POP（三角柱等）の設置による啓発及び関係団体と連携した事業系生ごみ減量化の取組 ・生ごみマイスター連絡会を活用した，地域での生ごみ堆肥化の推進	●家庭ごみの減量・資源化の推進 ・生ごみの減量・資源化意識が向上，可燃ごみ排出量を削減 ●効果的な施策の実施 ・最新のごみ組成等のデータに基づく，効果的な施策の実施
			●（仮称）旭川市リサイクルセンターの整備 ・令和7年度中の新施設供用開始を目指して取組を推進 ●近文清掃工場の再延命化 ・現施設の約50年間の供用を目途とした再延命化に向けて取組を推進 ・最終処分量の抑制に向けた取組の検討 ●次期一般廃棄物最終処分場の整備 ・現施設の埋立期限（令和12年3月）を見据えて取組を推進 ・施設のコンパクト化に向けた取組の検討	○ごみ処理施設の整備更新 ■缶・びん等資源物中間処理施設整備費〔270,197千円〕 【本体工事に着手するとともに，外構実施設計などの新施設の供用開始に向けた取組を推進】 ■近文清掃工場基幹的設備改良事業費〔6,272千円〕 【機能診断調査の結果を踏まえ，再延命化工事で実施する内容等を整理した長寿命化総合計画を策定】 ■次期最終処分場整備費〔109,497千円〕 【建設地に係る各種調査のほか，基本計画・基本設計に着手】 ○現処理施設の維持管理（次期処理施設を整備するまで適切な維持管理） 【各処理施設を安定的に使用するため，施設保全計画等に基づく運転管理及び点検整備】	●安定的なごみ処理体制の維持 ・計画的な施設整備の実施 ・現処理施設の適切な維持管理 ・現処理施設の安全で安定した運転管理
			●生活排水処理 ・生活排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上 ●環境センターの方向性整理 ・延命化期間（R15年度）終了後を見据えて，施設更新の方向性を整理	○合併浄化槽設置の推進 ■浄化槽設置整備費〔7,781千円〕 【公共下水道及び農業集落排水処理区域外で合併処理浄化槽を設置しようとする個人住宅に対して，設置費用の一部補助】 ○安定したし尿処理体制の維持 ■し尿処理費〔153,021千円〕　■環境センター管理費〔160,359千円〕 【委託による収集運搬業務の実施（令和3年度と同様の体制で実施），移動式公衆便所を貸出，環境センターの施設保全計画に基づく改修等】 ■環境センターの方向性整理 【今後の処理量見込み，施設や設備の老朽化状況，周辺町の意向などを踏まえ，施設更新の方向性を整理】	●生活排水の適正処理 ・公共用水域の水質汚濁防止と公衆衛生の向上 ●安定的なし尿処理体制の維持 ・環境センターの適切な維持管理と安全で安定した運転管理 ・計画的な施設整備の実施
	旭川市地球温暖化対策実行計画 川市気候変動適応計画	脱炭素社会の形成	●温室効果ガス排出量 ・令和元年度実績は309万9千トンCO2で，最終目標値（令和9年度）までに91万トンCO2の削減が必要 ・本市で温室効果ガス排出割合の高い民生家庭部門での排出抑制が課題 ●旭川市地球温暖化対策実行計画の改定 ・国・道の地球温暖化対策計画の改定に伴う本市計画の改定	**●再生可能エネルギーの利用促進　●地球温暖化対策に係る市民意識の向上　●旭川市地球温暖化対策実行計画の改定** ○ゼロカーボンシティ旭川の実現に向けた取組の推進 ■省エネルギーの強化・再生可能エネルギーの利用促進 【コレモ等の省エネルギー設備，太陽光発電・木質バイオマスストーブ等の再生可能エネルギー設備の導入促進】 ■地球温暖化対策に係る市民意識の向上・行動の変容 【旭川グリーンアンバサダーや環境フェスタによる情報発信の強化，小学生を対象としたエコライフレポートや事業者を対象としたエコ通勤の実施，出前講座や植樹を通じた環境教育の展開等】 ■旭川市地球温暖化対策実行計画の改定 【国・道の計画を踏まえ，地域の特性や強みを生かす計画へ改定】	●地球温暖化の抑制 ・省エネ強化・再エネ促進によるCO2削減 ・市民の意識向上・行動変容による民生家庭部門のCO2排出抑制 ・計画改定による取組の加速化
	旭	安全で快適な生活環境の創出 自然共生社会の形成	●ごみステーションでの不適正排出 ・令和4年度実績で約4万8千袋あり，その抑制が必要 ●不法投棄 ・令和4年度実績で発見件数は287件で，更なる抑制が必要	**●市民・事業者・地域との協働による清掃活動，不法投棄防止　●旭川市環境基本計画【第2次計画・改訂版】（第2版）の見直し** **●外来種対策等による生物多様性の保全　●PCB使用製品の適正処理　●鳥獣対策　●公害対策** 【地域清掃活動の実施・ポイ捨て防止対策】 ■ごみステーション環境整備費〔985千円〕 【ごみ適正排出協力員制度の継続】 【車両パトロール及びボランティア協力員による監視・防止，監視カメラ，啓発のぼり設置による未然防止対策，不法投棄等防止パネル展の開催による適正処理意識の普及啓発，不法投棄された廃棄物の早期回収による更なる投棄の抑制・拡大防止】	●市民との協働による快適な生活環境の実現 ・分別・適正排出が徹底されたごみステーションの実現 ・ポイ捨て防止による環境美化 ・不法投棄による生活環境悪化の防止
			●外来種の定着 ・特定外来生物及び北海道指定外来種による地域の生態系への影響 ①特定外来生物：アライグマ，ウチダザリガニ，アカミミガメ　オオハンゴンソウ，セイヨウオオマルハナバチ ②北海道指定外来種：アズマヒキガエル	○生物多様性の保全 ■生物多様性保全費〔7,445千円〕 【生物多様性保全推進協議会によるアライグマ捕獲，アズマヒキガエル捕獲体験学習会やウチダザリガニ防除体験など市民参加型防除の推進，生物多様性セミナー等の啓発事業の実施】	●生物多様性の保全 ・外来種の増加抑制，生息域の拡大防止，在来種の保護
			●ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正処理 ・高濃度PCB処分期限経過（変圧器・コンデンサ：令和3年度末）（安定期：令和4年度末） ・低濃度PCB廃棄物（処分期限：令和8年度末）の保有実態把握が必要 ●鳥獣対策 ・繁殖期のカラスや出没したヒグマによる人的被害の防止 ●環境汚染対策 ・大気，水質等の環境基準項目14項目中13項目を達成（令和4年度実績，光化学オキシダント(Ox)のみ非達成）	○市民が安心できる生活環境の確保 ■PCB廃棄物の適正処理（事業費なし） 【高濃度PCB新規発見時保管事業者への即時立入，処理の指導強化】 【市HP等を活用した，低濃度PCB含有が疑われる使用製品の普及啓発の徹底】 ■鳥獣対策費〔16,826千円〕 【電気柵設置によるヒグマの市街地侵入抑制，ひぐまっぷ利用による情報発信強化，ヒグマ対策の専門家・警察・猟友会などの関係者を交えた協議会による対策の検討，遠隔操作型センサーカメラによるヒグマの行動監視，ヘアトラップ等によるヒグマ生息状況調査】 ■公害監視測定費〔28,304千円〕 【市内4か所の測定局における大気汚染物質の常時監視，Ox等高濃度時の注意喚起】 【発生源となる事業場からの排水及び排ガスの採取・分析及び基準超過した場合の改善指導】	●市民の安全・安心の確保 ・PCB廃棄物の期限内処理の推進と処理までの適正保管による環境汚染，健康被害の防止 ・鳥獣被害の防止 ・生活環境の保全と汚染物質による健康被害防止

令和5年度　環境部主要事業の概要について（抜粋）

使命	目標	現状と課題	令和５年度の主な取組内容	期待される効果
環境負荷の低減と自然との共生の確保	脱炭素社会の形成	●温室効果ガス排出量 ・令和元年度実績は309万9千トンCO2で，最終目標値(令和9年度)までに91万トンCO2の削減が必要 ・本市で温室効果ガス排出割合の高い民生家庭部門での排出抑制が課題 ●旭川市地球温暖化対策実行計画の改定 ・国・道の地球温暖化対策計画の改定に伴う本市計画の改定	**●再生可能エネルギーの利用促進　●地球温暖化対策に係る市民意識の向上** **●旭川市地球温暖化対策実行計画の改定** ○ ゼロカーボンシティ旭川の実現に向けた取組の推進 ■ 省エネルギーの強化・再生可能エネルギーの利用促進 【コレモ等の省エネルギー設備，太陽光発電・木質バイオマスストーブ等の再生可能エネルギー設備の導入促進】 ■ 地球温暖化対策に係る市民意識の向上・行動の変容 【旭川グリーンアンバサダーや環境フェスタによる情報発信の強化，小学生を対象としたエコライフレポートや事業者を対象としたエコ通勤の実施，出前講座や植樹を通じた環境教育の展開等】 ■ 旭川市地球温暖化対策実行計画の改定 【国・道の計画を踏まえ，地域の特性や強みを生かす計画へ改定】	●地球温暖化の抑制 ・省エネ強化・再エネ促進によるCO2削減 ・市民の意識向上・行動変容による民生家庭部門のCO2排出抑制 ・計画改定による取組の加速化
	安全で快適な生活環境の創出 自然共生社会の形成	●外来種の定着 ・特定外来生物及び北海道指定外来種による地域の生態系への影響 ①特定外来生物：アライグマ，ウチダザリガニ，アカミミガメオオハンゴンソウ，セイヨウオオマルハナバチ ②北海道指定外来種：アズマヒキガエル	**●市民･事業者･地域との協働による清掃活動，不法投棄防止　●旭川市環境基本計画【第2次計画･改訂版】(第2版)の見直し　●外来種対策等による生物多様性の保全　●PCB使用製品の適正処理　　●鳥獣対策　　●公害対策** ○ 生物多様性の保全 ■ 生物多様性保全費〔7,445千円〕 【生物多様性保全推進協議会によるアライグマ捕獲，アズマヒキガエル捕獲体験学習会やウチダザリガニ防除体験など市民参加型防除の推進，生物多様性セミナー等の啓発事業の実施】	●生物多様性の保全 ・外来種の増加抑制，生息域の拡大防止，在来種の保護
		●ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正処理 ・高濃度PCB処分期限経過 （変圧器・コンデンサ：令和3年度末） （安定期：令和4年度末） ・低濃度PCB廃棄物（処分期限：令和8年度末）の保有実態把握が必要 ●鳥獣対策 ・繁殖期のカラスや出没したヒグマによる人的被害の防止 ●環境汚染対策 ・大気，水質等の環境基準項目14項目中13項目を達成（令和4年度実績，光化学オキシダント(Ox)のみ非達成）	○ 市民が安心できる生活環境の確保 ■ PCB廃棄物の適正処理（事業費なし） 【高濃度PCB新規発見時保管事業者への即時立入，処理の指導強化】 【市HP等を活用した，低濃度PCB含有が疑われる使用製品の普及啓発の徹底】 ■鳥獣対策費〔16,826千円〕 【電気柵設置によるヒグマの市街地侵入抑制，ひぐまっぷ利用による情報発信強化，ヒグマ対策の専門家・警察・猟友会などの関係者を交えた協議会による対策の検討，遠隔操作型センサーカメラによるヒグマの行動監視，ヘアトラップ等によるヒグマ生息状況調査】 ■公害監視測定費〔28,304千円〕 【市内4か所の測定局における大気汚染物質の常時監視，Ox等高濃度時の注意喚起】 【発生源となる事業場からの排水及び排ガスの採取・分析及び基準超過した場合の改善指導】	●市民の安全・安心の確保 ・PCB廃棄物の期限内処理の推進と処理までの適正保管による環境汚染，健康被害の防止 ・鳥獣被害の防止 ・生活環境の保全と汚染物質による健康被害防止